

かまがや レインボープラン21

KAMAGAYA RAINBOW PLAN 21

概要版

～「行政主導」から「市民との協働」へ～

緑とふれあいのあるふるさと
鎌ヶ谷



鎌ヶ谷市総合基本計画
後期基本計画

はじめに～市民との協働で鎌ヶ谷市のまちづくりを～

「行政主導型」から「市民との協働」で達成する計画へ

このたび、平成 23 年度（2011 年度）から平成 32 年度（2020 年度）までの 10 年間の鎌ヶ谷市のまちづくりの基本的な方向を示す「後期基本計画」を策定しました。この計画は、「目標を市民と行政が共有し、協働で達成する計画」としています。

21 世紀初頭の 10 年間、本市は「鎌ヶ谷市総合基本計画」の「前期基本計画」に基づいてまちづくりを行ってきました。「前期基本計画」では達成すべき目標として主に「行政が何をどれだけつくるか・するか」といった目標を掲げ、いわば「行政主導型」の計画となっていました。

また、この 10 年間には、計画策定時に行った人口推計・財政推計が共に実際の状況を大きく下回ったこともあり、計画した事業の達成度が 5 割を下回る状況となりました。

「後期基本計画」の策定にあたり、こうした状況を市民の皆さんにお示したところ、「私たちに出来ることはまかせてほしい」といった多くの声をいただき、「市民との協働で達成する計画」を作るべきだと感じました。目標についても、「どういう施設をいくつ建設するか」といった目標にするのではなく、「めざすべきまちの姿」は何で、「そのためにどのような状況を作るか」を目標として掲げることとし、目標を市民と共有できるようにするとともに、市民・事業者・行政がそれぞれ果たす役割を明記しております。

（なお、今回配付した冊子は概要版であり、「市民・事業者・行政の役割」の記載を省略しておりますので、ぜひ計画書完全版（コミュニティセンター、学習センター（公民館）、図書館や市のホームページで閲覧可）をご覧ください。）

計画策定の時の市民参加を計画実行にも

市民の皆さんとの協働で目標を達成するためには、市民一人ひとりのご協力が欠かせません。「後期基本計画」の策定にあたっては、課題抽出期と計画案策定期の 2 期にわたり全コミュニティエリアで開催した「地域懇談会」や市内各種団体代表者などによる「まちづくり市民会議」、パブリックコメントなど過去に例のないほどの市民参加をいただき、計画案に対しては 400 件近いご意見をいただきました。計画開始後も、今後事業の実施にあたっては、こうした市民の皆さんのご協力が不可欠と考えておりますので、積極的な市政への参加をよろしくお願いいたします。

最後に、本計画の策定にあたり、熱心に審議、検討いただきました総合基本計画審議会、まちづくり市民会議の各委員の皆様をはじめ、地域懇談会やパブリックコメント、市民意識調査等でご意見をお寄せくださいました市民の皆様、市議会、その他計画策定にご協力いただきました多くの皆様に心より御礼申し上げます。

平成 22 年 2 月

鎌ヶ谷市長 清水 聖士

鎌ヶ谷市総合基本計画 後期基本計画 概要版 目次

はじめに

1	計画の趣旨	1
2	計画の構成と期間	2
3	計画の策定にあたって	3
4	分野別計画	9

この計画は、鎌ヶ谷市の「基本構想」を実現するために、まちづくりの基本的な方向を総合的、体系的に示すとともに、市政運営の指針となるものです。また、この計画は、市民の参加により策定されたものであり、市民や各種団体の自主的・積極的なまちづくりへの参加と行動の展開に向けた指針となるものです。

以下に示すような特徴を備えています。

① 分かりやすい計画

めざす姿、ビジョンを明確に示し、施策の進行状況を客観的に評価し、その成果を分かりやすく示すための指標（ものさし）を設定し、市民に分かりやすい計画としました。

② 行政だけでなく市民との協働で達成する計画

施策の成果をわかりやすく示すための指標は、行政だけでなく、市民や事業者との協働で達成するものとして設定し、それぞれの施策に、目標達成のために市民・事業者・行政のそれぞれが果たす役割を記載し、市民と共に作り、市民と共に実行していく「市民が主役」の計画としました。

（なお、今回配付した冊子は概要版であり、「市民・事業者・行政の役割」の記載を省略しておりますので、ぜひ計画書完全版（コミュニティセンター、学習センター（公民館）、図書館や市のホームページで閲覧可）をご覧ください。）

③ 計画策定後も評価と進行管理を絶やさぬ計画

指標の目標値と実績値の比較などにより、成果を検証しやすくなり、計画の進捗状況がわかりやすくなるようにしました。

この結果、評価結果によって、進捗が思わしくないものには財源を重点配分するなど、次期の施策や予算編成などに反映していくといった、進行管理しやすい計画としました。

鎌ケ谷市総合基本計画は、「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」で構成されており、この「後期基本計画」は、「基本構想」に掲げた施策の基本方向に基づく平成 23～32 年度の施策推進の指針となります。「基本構想」、「基本計画」、「実施計画」のそれぞれの内容は次のとおりです。

① 基本構想

基本構想は、まちづくりの基本理念や 21 世紀の鎌ケ谷市の姿、それを実現するための基本目標と施策の基本方向などを示し、最も基本的な市政運営の指針となるものです。

② 基本計画

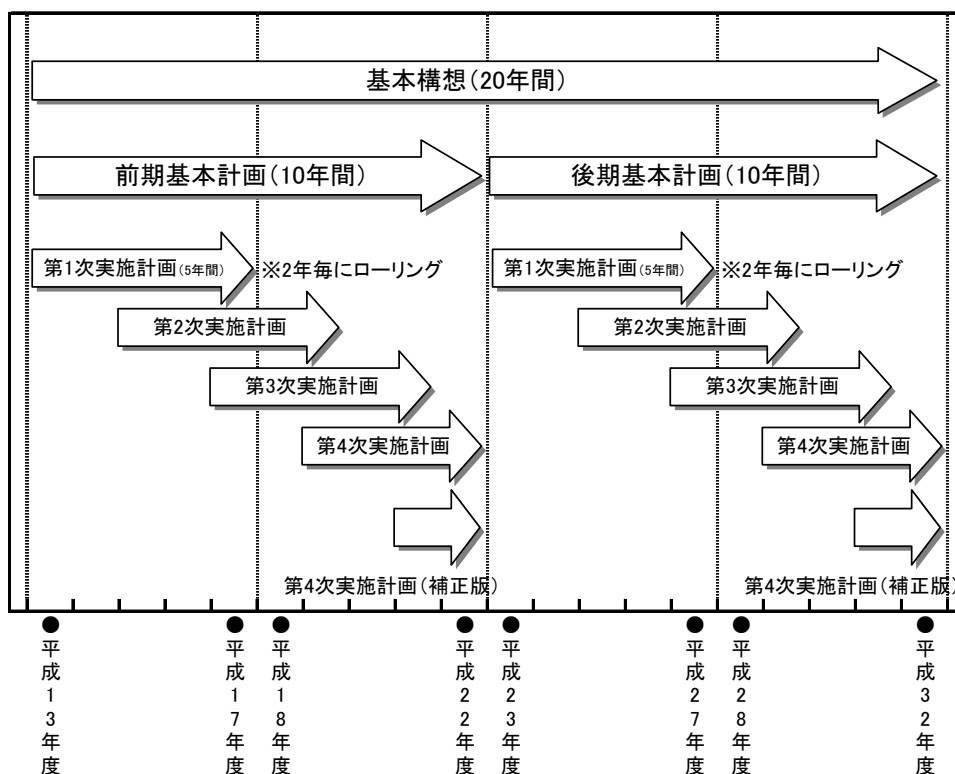
基本計画は、基本構想に掲げた施策の基本方向に基づき、各施策の基本方針や内容などを示すもので、基本構想を具体化した施策推進の指針となります。

③ 実施計画

実施計画は、基本計画に掲げた施策のうち、当面の行財政能力の中で実施する最適な事務事業を示すもので、予算編成の指針となるものです。

計画期間は 5 年間とし、平成 13 年度（2001 年度）から原則として 2 年毎のローリング方式（※）により見直しを行っていますが、「後期基本計画」においても同様の取扱いをしていきます。

図表 2-1 鎌ケ谷市総合基本計画の構成と期間



※「ローリング方式」…実施計画と基本計画の間の相違を定期的にチェックし計画を修正する方式

3-1 社会環境の変化

(1) 価値観や生活様式の多様化

- ・健康で活動的に暮らせる期間である健康寿命が伸びる中で、生きがいつくりや、心の豊かさをより重視した多様な生活様式の広がりなど、一人ひとりの個性、感性を尊重する傾向が強まっています。

(2) 安全や安心への意識の高まり

- ・近年、国内外で地震や異常気象による災害が頻発しており、国民の防災に対する意識が高まっています。治安の側面では、犯罪発生件数は少なくなっているものの、全国的に空き巣やひったくりなど生活に身近な犯罪の発生、凶悪犯罪の増加・低年齢化などが問題となっています。

(3) 環境問題の深刻化と持続可能な社会への転換

- ・地球温暖化に伴う異常気象と、それに伴う水資源や食糧生産の不安定さなども懸念されており、「持続可能な社会」の形成に向けた取り組みが世界共通の課題となっています。また、省資源・省エネルギーなど、低炭素型社会への転換が求められています。

(4) 人口減少・超高齢社会の到来

- ・少子化は、将来労働人口が減少し、経済活動の低下や国・地方自治体における歳入の減少による財政の悪化をもたらす恐れがあることのほか、子ども同士の交流機会の減少などにより、子どもの社会性がはぐくまれにくくなるなど、子ども自身の健やかな成長への影響が懸念されています。
- ・我が国における高齢化は、世界に例をみないほど急激に進行しています。こうした高齢化は、医療や社会保障の分野において若年層への負担を増大させることが懸念されています。

(5) 国際化の進展

- ・日常生活において、外国の文化に触れる機会や海外渡航の増加、在住する外国人の増加など、外国人との交流機会が増えています。こうした国際化の進展に対応して、外国人が暮らしやすく、行動しやすい多文化共生のまちづくりに加え、日本の文化などの情報発信なども一体的に行うことで、外国人観光客が増加し、観光関連産業が発展することが期待されています。

(6) 高度情報ネットワーク社会の到来

- ・今後の情報通信技術は、情報の自在なやりとりを行うことのできるユビキタスネット社会の実現に向かいつつあります。様々な側面で生活様式が変化していくことが予想され、一方で個人情報保護も重要な課題となっています。

(7) 地方分権

- ・今後の地方分権の時代にあつては、住民の日常生活や経済活動の広域化、多様化、高度化に対応したより高度な行政サービスを提供するため、基礎的自治体である市町村の行財政能力の向上、効率的な行政体制の整備・確立が重要な課題となるとともに、分権の進展に伴い、市民自治の観点もより必要となってきます。

3-2 数値による将来のまちの姿

(1) 人口

① 想定人口

- 平成 17 年 10 月 1 日現在 102,812 人だった本市の人口は、推計の結果、新鎌ヶ谷地区の開発等により今後数年は微増し、平成 27 年にピーク（107,900 人）を迎えた後、減少に転じると見込まれます。

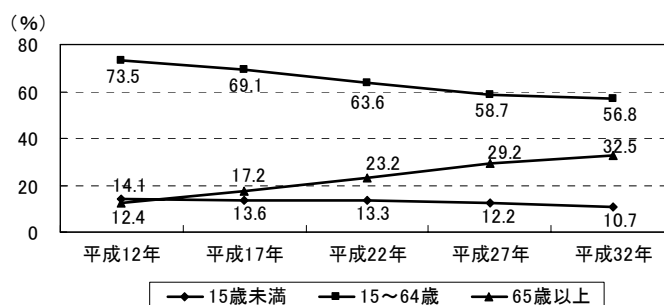
図表 3-1 《想定人口の推移》

平成 12 年	平成 17 年	平成 22 年	平成 27 年	平成 32 年
102,573	102,812	106,500	107,900	106,300

② 年齢別人口

- 年齢 3 区分人口の推移をみると、65 歳以上の人口比率は平成 32 年に 32.5% となり、市民の 3 人に 1 人が 65 歳以上になると見込まれます。

図表 3-2 《年齢 3 区分人口の推移》



(2) 財政

- 計画期間中（平成 23~32 年度）の財政フレームについては、基礎調査の結果から、2,373 億 3 百万円と推計します。なお、基礎調査では平成 20 年度現在の行財政運営を前提とした場合、歳出超過が発生するとしておりますが、さらなる行財政改革を行い、厳しい状況に対応する行財政運営を行うことで、計画期間中に 200 億円の投資的経費を確保することとして推計しました。

3-3 前期基本計画の進捗状況

■ 「前期基本計画」の達成状況は 50% 以下

- 前期基本計画における主な事業の進捗状況は、「平成 19 年度、完了済み」と「平成 22 年度、完了見込み」を合わせて 45.7%、「着手したものの平成 22 年度までに完了見込みなし」と「平成 22 年度までに完了見込みなし」を合わせて 54.3% となっています。

■ ゼロからの事業見直しと人口・財政の厳しい推計

- 前期基本計画期間中に完了できない事業については、継続を前提とするのではなく、「後期基本計画」に基づく「実施計画」策定時にはゼロから見直しをします。
- 前期基本計画策定時には、人口や財政状況などいわゆる右肩上がりの時代背景がありましたが、「後期基本計画」では、厳しく推計しています。

(1) 今後のまちづくりの方向性

■「緑とふれあいのあるふるさと 鎌ヶ谷」の実現

- ・各種懇談会意見では、自然・緑の保全というご意見が多く、目指すべき都市像である「緑とふれあいのあるふるさと 鎌ヶ谷」の実現が望まれています。
- ・現在、住んでいる地域は「落ち着いたある住宅地」にして欲しいという要望が多くなっています。

■「安全・安心」に対する高いニーズ

- ・本市が現在、実施している施策・サービスに対して、「不満足度も今後の重要度も高い」ものとして「道路の整備」が挙げられ、「今後の重要度が高い」ものとして「防犯対策」、「保健・医療の充実」、「交通安全対策」、「地震などの防災対策」、「下水道の整備」などが挙げられています。
- ・一方、現在の満足度が比較的高いものとしては、「消防力の充実」、「新しい市街地の整備」、「コミュニティづくり」、「し尿、ゴミ処理対策」、「公共交通体系の整備」などが挙げられています。

(2) 各種施策・事業の選択と集中

■効果が少ないサービスの廃止

- ・「効果が少ない行政サービスを廃止して、負担を減らしてほしい」という要望が最も多くなっています。

(3) 今後のまちづくりの進め方

■市民との協働によるまちづくり

- ・今後の地域活動への参加意向が高く、特に30代~60代でその傾向が高くなっています。
- ・まちづくりを進めていく上での役割分担は「行政・家庭・地域等が状況に応じ互いに相談して実施する」という意見が比較的多くなっています。

■「あれもこれも」から「重点を絞った計画」へ

「前期基本計画」に掲げた事業の完了見込みが50%を下回る状況であるという反省、また、少子高齢化の進展とそれによる厳しい財政状況を踏まえると、「後期基本計画」においては、「実現可能な計画」を策定すべきで、「あれもこれも」ではなく、重点的に実施する分野を絞る必要があり、「まちづくりの主要課題」と「重点政策」を次のとおり設定いたしました。

①まちづくりの主要課題

安全・安心

■災害に強い都市の形成

- ・避難所・避難路の系統的確保と整備
- ・住宅の耐震化、狭隘な生活道路の整備等による都市の防災性の向上
- ・河川・下水道の整備と連携した都市型水害の解消
- ・地域毎の自主防災組織の充実

■防犯まちづくりの推進

- ・地域ぐるみの防犯体制の整備

福祉

■支えあいによる心豊かな地域福祉社会の形成

- ・子どもから高齢者、障がい者まで、地域コミュニティを基本とした見守り支援の充実

■少子・高齢化への対応

- ・家庭と仕事を両立させる子育て応援体制の構築
- ・健康寿命を延ばし、安心して暮らし続けることができるサービス基盤の整備

教育

■安心して学べる教育環境の整備

- ・小・中学校の耐震化
- ・地域との連携による通学路の環境整備

■鎌ヶ谷の特色を生かした義務教育

- ・少人数指導教育や特別支援教育などによる一人ひとりの個性に応じた教育

■良好な住環境の保全・整備

- ・自然環境と調和した集約的な市街地整備
- ・規制、誘導を中心とした周辺環境と調和した良好な住環境形成

■質の高い生活を支える拠点の形成

- ・新鎌ヶ谷駅周辺地区では、居住機能にも配慮し、市民生活を支える多様な機能の集積を誘導

■歩いて暮らせる魅力あるまちづくり

- ・都市的サービスが充足し、歩行系ネットワークが確保された徒歩生活圏形成

■歩行系・公共交通機関・道路が連携した環境負荷に配慮した円滑な交通体系整備

- ・中心市街地の歩行系ネットワークの整備と公共交通体系との連携
- ・通過交通の抑制による体系的な道路ネットワークの形成

■水と緑・道・市街地景観等によるうるおいの創出

- ・自然環境の保全と「水・緑・道」のネットワーク形成
- ・個性と魅力ある市街地景観の創出

■循環型社会の実現

- ・廃棄物のリサイクルシステムや河川・下水道・雨水対策等による水の循環システムの構築
- ・市街地と農村地域が調和する土地利用と相互連携による地産地消システム構築

魅力あるまちづくり

市民との協働による市政運営・行財政改革の推進

■市民との協働

- ・行政・民間企業・市民等がそれぞれの役割のもと鎌ヶ谷市のまちづくりに参加する。

■持続可能な行財政運営

- ・行政評価を活用した事業の重点化
- ・さらなる行財政改革の推進



②重点政策

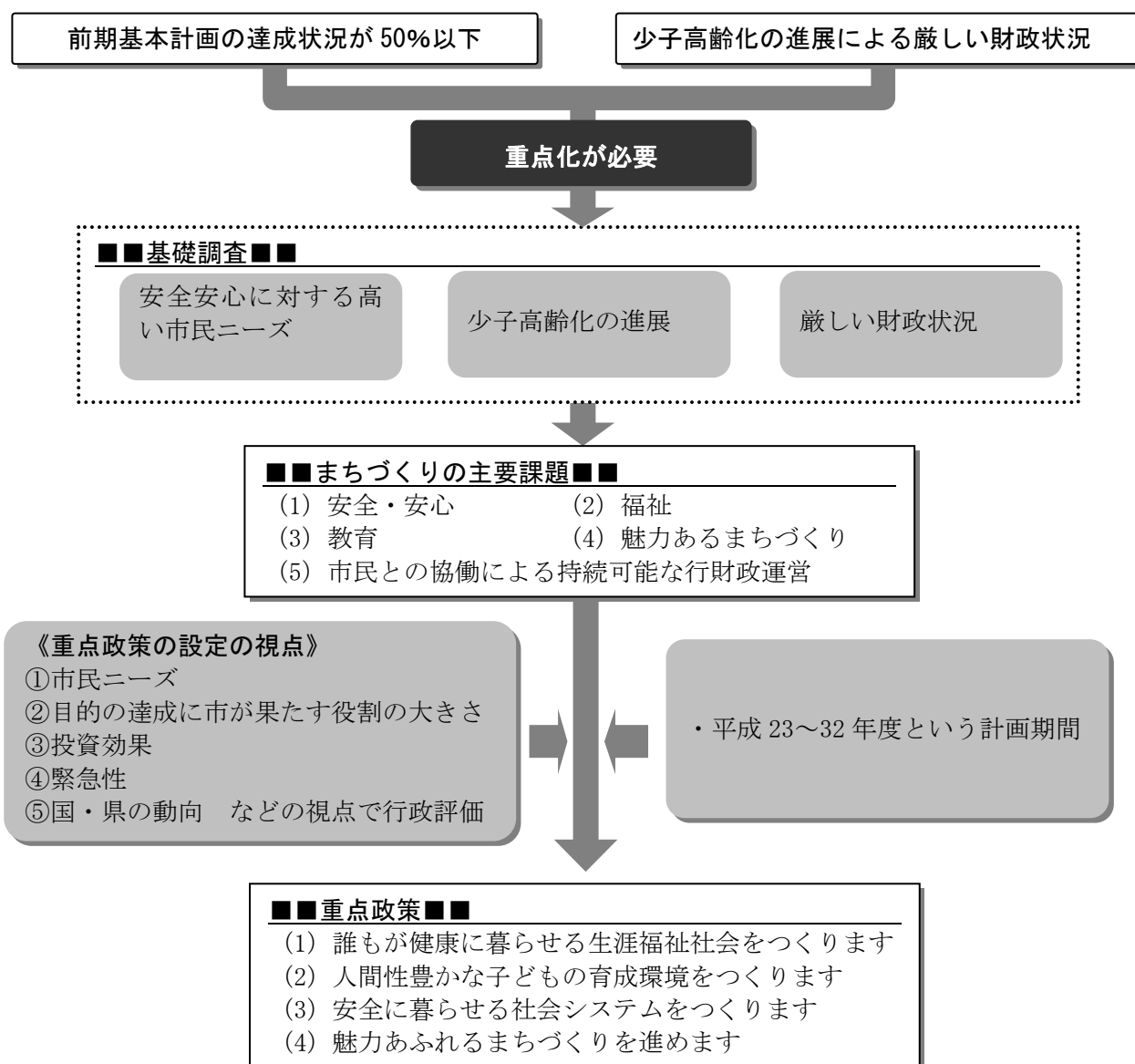
■「安全・安心」「福祉」「教育」「魅力あるまちづくり」の4つを重点政策に

まちづくりに充てられる財源には限りがあり、「前期基本計画」における「あれもこれも」という行財政運営から、「選択と集中」により重点化を図る行財政運営への転換が必要です。

「まちづくりの主要課題」を踏まえ、この「選択と集中」を明確にするため、図表 3-4 に示すとおり、「基本構想」に掲げる 11 の政策のうち 4 つを重点政策（※）として設定しました。

また、平成 20 年度に実施した市民意識調査結果より、「道路の状況（広さや舗装など）」、「犯罪・風紀などの防犯対策」、「火災・地震・水害などの防災対策」、「交通事故防止のための安全対策」、「高齢者や障がい者などの福祉環境」、「教育施設や教育環境」については、市民ニーズが高い施策と認識し、「後期基本計画」の期間中に重点的に取り組みを行い、具体的には、2年ごとに見直す「実施計画」の中で取り組んでまいります。

図表 3-3 重点政策の設定過程



※計画に取り組む姿勢と財源配分の優先度を相対的に示したものであり、絶対的な財源投下量を示すものではありません。

図表 3-4 重点政策

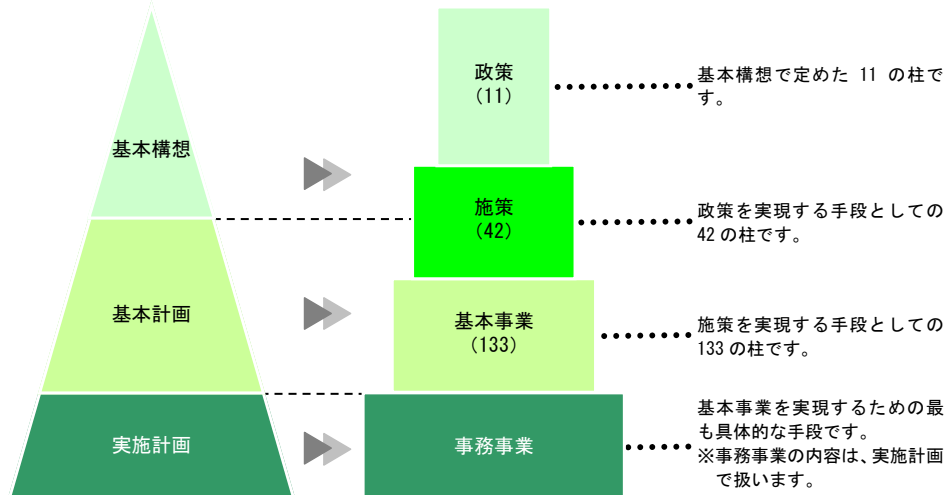
重点	政策
★	1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります
	1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります
★	1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります
	1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります
	2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります
	2-2 快適な暮らしの環境をつくります
★	2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります
★	3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます
	3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます
	3-3 活力ある産業を育成します
	4-1 計画の実現のために

※重点政策には「★」を付しています。

4-1 分野別計画の策定にあたって

(1) 分野別計画の体系

分野別計画では、総合計画を次のように体系化しています。



(2) 施策の体系

基本目標 1	「健康で生きがいのある福祉・学習都市」をめざして
	政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります
	施策 1 地域で支えあう福祉社会の形成
	施策 2 いきいきとした高齢社会の形成
	施策 3 健やかに子どもが育つ児童福祉の推進
	施策 4 社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進
	施策 5 安心して暮らせる社会保障の充実
	施策 6 健康を支える保健・医療の充実
	政策 1-2 生きがいのある暮らしができる生涯学習社会をつくります
	施策 1 いきいきとした生涯学習の推進
	施策 2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興
	施策 3 芸術・文化の振興
	政策 1-3 人間性豊かな子どもの育成環境をつくります
	施策 1 豊かな人間性を育む幼児教育の充実
	施策 2 生きる力を育てる義務教育の充実
	施策 3 児童・生徒の健康と安全の確保
	施策 4 高等教育の充実
	施策 5 青少年の健全育成
	政策 1-4 個人が尊重しあう多様な市民交流をつくります
	施策 1 個性豊かなコミュニティづくり
	施策 2 市民生活を支える地域情報化の推進
施策 3 男女共同参画社会づくり	
施策 4 世界と結びつく国際化の促進	

基本目標 2 「自然と社会が調和する 環境共生都市」をめざして	
基本目標 2	政策 2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります
	施策 1 環境保全の促進
	施策 2 循環型社会の構築
	政策 2-2 快適な暮らしの環境をつくります
	施策 1 良好な住宅の整備
	施策 2 快適な公園・緑地環境の整備
	施策 3 うるおいのある河川・水路の整備
	施策 4 上・下水道の整備
	施策 5 環境衛生の充実
	政策 2-3 安全に暮らせる社会システムをつくります
	施策 1 交通安全の推進
	施策 2 防犯対策の促進
施策 3 防災対策の強化	
施策 4 消防力の強化	

基本目標 3 「躍動感と魅力あふれる 交流拠点都市」をめざして	
基本目標 3	政策 3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます
	施策 1 広域交流拠点の整備
	施策 2 鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備
	施策 3 質の高い既成市街地の整備
	施策 4 鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり
	政策 3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます
	施策 1 安全でゆとりある道路の整備
	施策 2 利便性の高い公共交通体系の充実
	政策 3-3 活力ある産業を育成します
	施策 1 都市農業の育成
	施策 2 魅力ある商業の育成
	施策 3 活力ある工業の育成
	施策 4 安心できる消費生活の推進

計画の実現のために	
計画の実現のために	政策 4-1 計画の実現のために
	施策 1 地方分権と市民参加の推進
	施策 2 効率的で健全な行財政運営の推進
	施策 3 広域行政の推進

(3) 計画書（完全版）に掲げた分野別計画の例

計画書（完全版）には、以下に示した内容を42の施策ごとに掲げていますが、この概要版では、「施策のねらい（めざす姿）」と「施策の成果目標値」のみを紹介させていただいております。

計画書（完全版）は、コミュニティセンター、学習センター（公民館）、図書館や市のホームページで閲覧可能ですので、ぜひご覧ください。

なお、各施策を実現するための具体的な事務事業は、5年間を計画期間とする「実施計画」（平成22年度内策定予定）に記載しますので、そちらを御覧下さい。

鎌ケ谷市のめざすまちの姿を実現するための柱となる「政策」の名称です。

政策を実現するための手段となる「施策」の名称です。

重点政策に属するものは【重点政策】と明記しています。

この施策がめざす鎌ケ谷市の将来の姿です。「基本構想」に基づいて記載しました。

政策 1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策 1 地域で支えあう福祉社会の形成

■ 施策のねらい（めざす姿） ■

すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。

施策をとりまく環境変化と課題

- ◆少子高齢化が進行し、生活上の支援を必要としている人が増えています。
- ◆都市化や核家族化の進行などにより、家庭や地域での人間関係の希薄化や相互扶助機能の弱体化が指摘されています。
- ◆少子高齢化への対応のため、市の予算のうち福祉に充てられる民生費の額が年々増加しています。

（百万円） 鎌ケ谷市民生費予算の動向

平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度
6,489	7,114	7,248	7,246	7,585	7,692	8,477

資料：鎌ケ谷市予算書

<基礎調査では・・・>

◇「お年寄り、体の不自由な方のお世話などの福祉活動」は、「行政・家庭・地域等が、状況に応じ互いに相談して実施する」との市民意識が示されています。

施策を実現する手段（基本事業の構成）

基本事業	ねらい（めざす姿）	基本事業成果指標
1) パートナーシップ（※1）による地域福祉活動の推進	市民が様々な機会において地域福祉活動に積極的に参加しています。	◆ボランティア登録団体会員数 ◆ボランティアでの実施サービスメニュー数
2) 総合的な健康福祉サービス利用の促進	市民が健康福祉に関する情報を入手でき、ニーズに応じたサービスを利用しています。	◆市ホームページ掲載の健康福祉情報数 ◆健康福祉に関する啓発メニュー数

この施策での環境変化と課題を整理しています。様々な課題に対する取り組みとして基本事業を設定します。

平成20年12月の「後期基本計画基礎調査」から、各施策に関する内容を抜粋しました。



施策を実現するための手段となる「基本事業」の名称です。

この基本事業がめざす鎌ケ谷市の将来の姿です。

「基本事業のねらい」の達成度を測る指標（ものさし）です。

(今回配付した冊子は概要版であるため、「まちづくり主体ごとの役割」の記載を省略しています。ぜひ計画書(完全版)(コミュニティセンター、学習センター(公民館)、図書館で閲覧可)をご覧ください。)



まちづくりの主体ごとに主な役割を掲げています。
 「施策のねらい」を実現するために、市民や事業者、行政などが一体となってまちづくりを進めていきます。
 本来、行政が果たすべき役割を市民・事業者に担っていただくということではなく、それぞれが果たすべき役割を担いながらまちづくりを行っていきます。
 市民・事業者が役割を果たしやすいよう、行政からも働きかけていきます。

3) 地域福祉推進のネットワーク(※2)化	地域福祉に関する市民・事業者・行政の役割が明確化され、連携が強化されています。	◆地域ネットワーク組織数
4) ひとにやさしい福祉のまちづくり	バリアフリー(※3)化が推進され、誰もが安全・安心に暮らしています。	◆バリアフリー化に関連する事業数

まちづくり主体ごとの役割

□市民



- 地域活動に参加し、自己実現や自己啓発に取り組みます。
- ボランティア活動に積極的に参加します。
- 地域での支えあいに積極的に取り組みます。

□事業者



- 地域の一員として、地域活動に参加します。
- 地域の生活課題の解決に、地域と協働して取り組みます。
- 地域の支えあいネットワーク形成に参加します。

□行政



- 公的サービスの充実を図ります。
- 鎌ヶ谷市社会福祉協議会など関係団体と協働し、地域福祉を推進します。
- 地域の支えあいネットワーク形成の支援を行います。

「施策のねらい」の達成度を測る指標(ものさし)です。

施策の成果目標値

指標名	現状値	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
◆福祉環境満足度(市民意識調査)	12.5% (平成20年度)	13.0%	14.0%
◆ボランティア登録団体会員数	1,511人 (平成20年度)	1,550人	1,600人

この施策の関連する他の計画です。

部門計画名 「鎌ヶ谷市地域福祉計画」

- 用語説明 ※1 パートナーシップ: 立場の異なる人同士が信頼の上に協働し、地域福祉サービスを必要としている人へ支援を行うことにより地域福祉を推進すること。
 ※2 ネットワーク: 複数の要素が個々に機能するのではなく、有効に作用し合えるよう互いに網状に連続させ、相互の機能を高めること。
 ※3 バリアフリー: 誰もが安全・安心に移動できるまちをめざし、高齢者、障がい者等の活動の妨げとなる生活分野における障がい(バリア)をなくすこと。



目標を設定する基準となる数値で、アンケートや業務データ等から取得しています。

計画期間の中間年度と最終年度の目標値を示します。達成状況は、中間・最終年度それぞれの時点で取得できる最新の数値で把握します。
 原則として具体的な数値で目標値を示しますが、具体的な数値を示すことが難しいものは、「増加」「減少」など方向を示します。
 本来、ゼロであるべき値も、後期基本計画期間中の目標として原則、具体的な数値を掲げました。

4-2 分野別計画

※今回配付した冊子は概要版であるため、「市民・事業者・行政の役割」の記載を省略しております。ぜひ計画書完全版（コミュニティセンター、学習センター（公民館）、図書館で閲覧可）をご覧ください。

政策1-1 誰もが健康に暮らせる生涯福祉社会をつくります【重点政策】

施策1 地域で支えあう福祉社会の形成

◇施策のねらい（めざす姿）…すべての市民が、地域で支えあい、助けあいながら生活しています。

施策の成果目標値

◆福祉環境満足度（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
12.5%	13.0%	14.0%

◆ボランティア登録団体会員数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1,511人	1,550人	1,600人

施策2 いきいきとした高齢社会の形成

◇施策のねらい（めざす姿）…高齢者が生きがいをもち、その人らしく暮らしています。

施策の成果目標値

◆65歳以上要介護認定率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
13.0%	14.5%	15.5%

◆趣味や習い事などを行っている高齢者の割合 (高齢者アンケート)

現状値 (平成19年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
60.7%	増加	増加

※65歳以上要介護認定率は、将来推計に比べて上昇を抑制することを目標としています。

施策3 健やかに子どもが育つ児童福祉の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…地域ぐるみで子育てできる環境の中で、子どもが健やかに育っています。

施策の成果目標値

◆合計特殊出生率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1.34	1.34	1.34

※「合計特殊出生率」は、将来の下降を抑制し、現状を維持することを目標としています。

◆就学前人口に対する保育所入所率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
15.0%	16.5%	18.0%

◆保育所待機児童数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
63人	0人	0人

施策4 社会参加に向けた障がい者（児）福祉の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…障がい者（児）が、住み慣れた家庭や地域で安心して自立した生活をしています。

施策の成果目標値

◆障がい者手帳所持者のうち施設入居者を除いた割合

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
98.1%	98.4%	98.7%

◆訪問系サービス利用者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
65人	90人	110人

◆日中活動系サービス利用者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
223人	360人	390人

※障がい者施策は、施設入所や入院から地域生活への移行を目標としています。

施策5 安心して暮らせる社会保障の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…すべての市民が必要な社会保障制度を活用し、安心して暮らしています。

施策の成果目標値

※この施策は国の制度に基づいて推進していくため、国が行う施策の影響が大きく、市としての成果目標値は設定しません。

施策6 健康を支える保健・医療の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…すべての市民が生涯にわたって、健康で明るく、元気に暮らしています。

施策の成果目標値

◆平均寿命（男）

現状値 (平成17年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
79.3歳	さらに長寿化	さらに長寿化

◆平均寿命（女）

現状値 (平成17年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
86.0歳	さらに長寿化	さらに長寿化

◆自分の健康に満足している率
(市民健康意識調査)

現状値 (平成17年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
49.5%	53%	55%

◆乳児死亡率（出生千対）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
6.3人	減少	減少

施策1 いきいきとした生涯学習の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が生涯を通じて学習に取り組み、その成果を地域で活かし、生きがいをもって生活しています。

施策の成果目標値

◆生涯学習をしている市民割合（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
64.3%	67.0%	70.0%

◆学習施設利用者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
362,895人	385,000人	400,000人

◆図書館資料貸出数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
424,600冊	435,000冊	450,000冊

施策2 生涯スポーツ・レクリエーションの振興

◇施策のねらい（めざす姿）…スポーツをする市民が増え、一人ひとりが健康で明るい生活を送っています。

施策の成果目標値

◆1年間継続してスポーツをしている市民割合（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
21.0%	23.0%	25.0%

◆余暇時間にスポーツを行っている市民割合（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
12.0%	13.5%	15.0%

施策3 芸術・文化の振興

◇施策のねらい（めざす姿）…地域に根ざした市民文化が創造され、その活動が広く展開されています。また、歴史、文化遺産が適切に保存・継承され、周知・活用されています。

施策の成果目標値

◆市民文化祭等市主共催芸術文化事業参加・発表者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
2,312人	2,500人	2,800人

◆指定文化財数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
29件	30件	32件

施策1 豊かな人間性を育む幼児教育の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…家庭、幼稚園・保育所、地域社会の連携が深まり、幼児たちがいきいきと活動しています。

施策の成果目標値

◆市内幼稚園児・保育所児童数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
3,396人	3,450人	3,500人

施策2 生きる力を育てる義務教育の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…良好な学習環境の中で、児童・生徒がたくましく生きる力を身につけています。

施策の成果目標値

◆少人数指導教員配置数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
14人	14人	14人

◆不登校児童生徒出現率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1.1%	0.8%	0.5%

◆特別支援教育推進指導教員配置数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
10人	14人	14人

◆義務教育施設耐震化率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
39.2%	80.4%	100.0%

※「義務教育施設耐震化率」について、小中学校施設の耐震基準は国の補助基準により構造耐震指標（IS値）0.7未満の建物を耐震化することとしています。

施策3 児童・生徒の健康と安全の確保

◇施策のねらい（めざす姿）…すべての児童・生徒が心身ともに健康で安全な学校生活を送っています。

施策の成果目標値

◆学校災害件数の割合

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
6.0%	5.5%	5.0%

◆学校給食残菜率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
14.4%	13.2%	12.0%

◆子ども安全メール登録者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
5,494人	6,200人	7,000人



施策4 高等教育の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…義務教育修了後の生徒が、その能力や適性に応じて幅広い進路選択ができています。自己実現を図るための高度で専門的な学習環境が提供され、市民の学習ニーズが満たされています。

施策の成果目標値

◆オープンカレッジかまがや参加者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
906人	1,000人	1,200人

施策5 青少年の健全育成

◇施策のねらい（めざす姿）…青少年が、社会性や社会規範を身につけ、自己を確立し、協調性や連帯感を育んでいます。

施策の成果目標値

◆地域見守り活動従事者数（延べ）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1,151人	1,250人	1,300人

◆ジュニアリーダーズクラブ新規加入者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
3人	3人	3人



施策1 個性豊かなコミュニティづくり

◇施策のねらい（めざす姿）…地域コミュニティ活動や、テーマに沿った市民活動が盛んに行われ、市民一人ひとりが地域社会の中で役割を認識しています。
地域のきずながあり、特色のあるコミュニティが形成され、安心して暮らしています。

施策の成果目標値

◆自治会加入世帯数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
28,915世帯	29,500世帯	29,800世帯

◆市民活動推進センター登録団体数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
69団体	90団体	105団体

◆過去1年間に地域活動をした市民の割合

(市民意識調査)

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
64.0%	66.0%	68.0%

施策2 市民生活を支える地域情報化の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が情報通信システムを活用し、必要な情報を入手したり、時間や距離に制限されない交流をしています。

施策の成果目標値

◆市ホームページ年間アクセス数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
397,286件	410,000件	420,000件

◆まなびいネット利用件数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
48,928件	53,500件	56,000件

施策3 男女共同参画社会づくり

◇施策のねらい（めざす姿）…男女が互いに人間として平等に尊重されつつ、責任を分かち合い、その個性と能力を十分に発揮し、いきいきと暮らしています。

施策の成果目標値

◆男女が平等であると考える市民割合

(市民意識調査)

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
24.4%	30.0%	35.0%

◆審議会等女性委員割合

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
23.2%	27.0%	30.0%

施策4 世界と結びつく国際化の促進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民による国際交流が盛んに行われています。国際平和の意識が高く、様々な分野で国際化への対応が行われています。外国人にも暮らしやすい鎌ヶ谷市になっています。

施策の成果目標値

◆通訳ボランティア登録人数

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
25 人	28 人	30 人

◆姉妹都市ワカタネを知っている人の割合 (市民意識調査)

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
54.9%	60.0%	65.0%

政策2-1 人と自然にやさしい地域社会をつくります

施策1 環境保全の促進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民一人ひとりの環境意識が高まり、身近な生活環境や自然環境、そして地球環境までに配慮した生活をおくっています。市民・事業者・行政が協働して環境保全活動に取り組んでいます。

施策の成果目標値

◆河川の水質 BOD 値

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
13.9mg/L	9.0mg/L 以下	5.0mg/L 以下

◆市内全域の温室効果ガス排出削減率

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
- 平成 2 年度基準年	-	25%

※「市内全域の温室効果ガス排出削減率」の基準年は、京都議定書の基準年（平成 2 年）としています。

施策2 循環型社会の構築

◇施策のねらい（めざす姿）…市民の資源の保全に関する意識が高まり、市民・事業者・行政が協働して、ごみ減量化、リサイクルへの積極的な取り組みが進められています。

施策の成果目標値

◆資源化率

現状値 (平成 19 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
25.1%	上昇	上昇

◆最終処分率

現状値 (平成 19 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
8.2%	減少	減少

施策1 良好な住宅の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が、良好な居住環境の下、良質な住宅で暮らしています。

施策の成果目標値

◆工事完了検査率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
76.5%	88%	100%

◆無料耐震診断相談会申込者への診断実施率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
100%	100%	100%

施策2 快適な公園・緑地環境の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…市民と行政が一体となって自然の緑地を保全し、さらに緑の空間の創造に取り組んでいます。

施策の成果目標値

◆市民一人当たりの公園面積

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
2.1 m ² /人	3.3 m ² /人	3.8 m ² /人

施策3 うるおいある河川・水路の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が水辺に親しみをもっています。河川・水路等の整備が進み、市民が安心して生活できています。

施策の成果目標値

◆浸水面積

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
127.2ha	123.9ha	121.1ha

◆浸透柵設置個数

現状値 (平成19年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
5,728基	6,800基	7,800基

施策4 上・下水道の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…すべての市民が、良質で安定した水を利用しています。下水道（汚水）が整備され、市民が衛生的な環境の中で生活しています。

施策の成果目標値

◆上水道普及率

現状値 (平成19年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
73.8%	上昇	上昇

◆下水道普及率

(処理区域内人口/行政区域内人口)

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
52.6%	60.0%	68.0%

◆下水道水洗化戸数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
21,550戸	25,500戸	29,300戸

施策5 環境衛生の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が、清潔な生活環境で暮らしています。

施策の成果目標値

◆生活排水処理率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
73.0%	88.0%	94.2%



施策1 交通安全の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…子どもや高齢者、障がい者を含めたすべての人が安心して快適に通行できる交通環境になっています。

施策の成果目標値

◆交通事故発生件数

現状値 (平成20年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
442件	407件	349件

◆人口千人当たりの交通事故死傷者数

現状値 (平成20年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
4.9人	4.4人	3.8人

施策2 防犯対策の促進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民が、犯罪のない明るい地域社会で安心して暮らしています。

施策の成果目標値

◆刑法犯認知件数

現状値 (平成20年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1,498件	1,400件	1,300件

◆防犯パトロール隊団体数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
37団体	38団体	40団体

施策3 防災対策の強化

◇施策のねらい（めざす姿）…市民や企業、行政が一体となった防災活動が展開され、災害に強いまちになっています。

施策の成果目標値

◆自主防災組織組織率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
66%	68%	70%

◆防災訓練参加延べ人数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1,334人	5,800人	10,300人
平成20年度を基準年	平成20年度から延べ	平成20年度から延べ



施策4 消防力の強化

◇施策のねらい（めざす姿）…市民の生命、財産等の被害を最小限に抑える体制を整えています。

施策の成果目標値

◆普通救命講習受講者数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
2,059人	7,000人	10,000人

◆住宅用火災警報器普及率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
34.0%	49.5%	65.0%

◆人口1万人当たりの出火率

現状値 (平成20年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
3.6件	3.6件	3.6件

政策3-1 魅力あふれるまちづくりを進めます【重点政策】

施策1 広域交流拠点の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…新鎌ヶ谷駅周辺地区は、交通結節点として、千葉県北西部地域を代表する躍動感と魅力ある交流拠点となっています。

施策の成果目標値

◆新鎌ヶ谷駅乗降客数（1日あたり）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
82,823人	92,000人	100,000人

◆新鎌ヶ谷地区事業所数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
164件	230件	270件

施策2 鉄道新線開業等に対応した新市街地の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…東京10号線延伸新線の整備を確かなものとするため、中沢地区などの市街地の整備の検討が進められています。

施策の成果目標値

◆新市街地整備事業着手地区数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
0地区	0地区	1地区



施策3 質の高い既成市街地の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…賑わいと魅力あふれる中心市街地が形成されています。自然と調和した質の高い居住環境が整備されています。

施策の成果目標値

◆鎌ヶ谷市を住み良いと答えた市民割合
（市民意識調査）

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
45.3%	50.0%	55.0%

◆既成市街地整備事業着手地区数

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
1 地区※1	1 地区※1	2 地区※2

※1 東武鎌ヶ谷駅西口地区

※2 初富駅・北初富駅周辺地区

施策4 鎌ヶ谷市の魅力あふれるまち並みづくり

◇施策のねらい（めざす姿）…地域で話し合いがされ、愛着の持てる魅力あるまちの実現を目指しています。魅力あるまち並みや恵まれた自然を活かした景観づくりが進められています。

施策の成果目標値

◆市の景観への満足度（市民意識調査）

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
23.8%	28.0%	33.0%



政策3-2 都市活動を支える交通網整備を進めます

施策1 安全でゆとりある道路の整備

◇施策のねらい（めざす姿）…道路利用者が、安全でゆとりある道路を円滑に利用することができます。

施策の成果目標値

◆「道路の状況」不満足度（市民意識調査）

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
65.2%	58.0%	50.0%

◆都市計画道路整備率

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
30.1%	38.0%	43.0%

施策2 利便性の高い公共交通体系の充実

◇施策のねらい（めざす姿）…環境に配慮した公共交通を利用して、目的地まで円滑に移動できています。連続立体交差事業等の進展により、交通渋滞が解消されています。

施策の成果目標値

◆鉄道駅乗降客数（1日あたり）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
181,914人	192,000人	200,000人

◆市内バス利用者数（1日あたり）

現状値 (平成19年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
1,794人	1,900人	2,000人

政策3-3 活力ある産業を育成します

施策1 都市農業の育成

◇施策のねらい（めざす姿）…農業と市民とのふれあいが強化し、農業が持続的に発展する中で農業生産が行われ、新鮮・安全・安心な食料が提供されています。また、農地の有する多面的機能からも本市の魅力づくりに貢献しています。

施策の成果目標値

◆販売農家数

現状値 (平成17年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
362戸	330戸	330戸

◆経営耕地面積

現状値 (平成17年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
41,500a	37,500a	37,500a

※市が関与する以上に社会環境によるところが大きく、施策を展開する中で成果目標値の達成に努めます。

施策2 魅力ある商業の育成

◇施策のねらい（めざす姿）…消費者ニーズを的確にとらえ、より豊かな生活を提供する商業・サービス業が多数集積し、特に個性ある魅力的な個店には市外からも多くの消費者が訪れています。また、高齢者へのきめ細かな対応など、商店街が地域とのつながりをより深めています。

施策の成果目標値

◆年間商品販売額

現状値 (平成19年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
8,645千万円	8,700千万円	8,700千万円

◆小売業における売り場面積

現状値 (平成19年)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
90,354㎡	90,400㎡	90,400㎡

※市が関与する以上に社会環境によるところが大きく、施策を展開する中で成果目標値の達成に努めます。

施策3 活力ある工業の育成

◇施策のねらい（めざす姿）…企業が技術革新を進めるとともに、その技術や技能を継承発展させ、付加価値の高い製品を生み出し、市内外に販路を拡大させています。また、新たなニーズに対応したコミュニティビジネスや SOHO などの立地も進むなど、これまでの産業の集積と新しい産業の進出による調和が生まれています。

施策の成果目標値

◆製造品出荷額

現状値 (平成 19 年)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
3,843 千万円	3,900 千万円	3,900 千万円

◆資金融資件数

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
18 件	30 件	40 件

◆無料職業紹介所の紹介による就職件数

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
122 件	120 件	120 件

※市が関与する以上に社会環境によるところが大きく、施策を展開する中で成果目標値の達成に努めます。

施策4 安心できる消費生活の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…消費者が安心して買い物をすることができています。また、市民一人ひとりが環境と調和した消費行動を実践しています。

施策の成果目標値

◆消費生活相談件数

現状値 (平成 20 年度)	目標値 (平成 27 年度)	目標値 (平成 32 年度)
131 件	300 件	300 件

※目標値は、現在よりも相談窓口を充実した結果、相談件数が増えるという考え方で設定しましたが、相談原因のトラブルや被害を未然に防ぐために安心できる消費生活への啓発や支援を行い、消費者が被害に遭わないよう努めます。

施策1 地方分権と市民参加の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…市民と行政が情報を共有し、共通の目標に向かってお互いの責任を自覚し、役割を分担しながら自らの選択と責任で協働のまちづくりをしています。

施策の成果目標値

◆市政に関する情報を得られている市民割合
（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
36.4%	43.0%	50.0%

◆市民の意見や要望が市政に反映されていると思う市民割合（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
31.3%	40.0%	50.0%

◆過去1年間に地域活動をした市民割合
（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
64.0%	66.0%	68.0%

◆市政への参加の機会が進んだと思う市民割合
（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
18.1%	25.5%	33.0%

施策2 効率的で健全な行財政運営の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…最少の経費で最大の効果を生み出す行政運営が行われています。年間の支出をその年の収入でまかなう財政運営が確立されています。

施策の成果目標値

◆経常収支比率

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
95.6%	95.0%	95.0%

◆職員一人あたりの人口

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
147.7人	160.3人	160.3人

◆市職員の市民への対応が良くなったと答えた市民割合（市民意識調査）

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
26.1%	28.0%	30.0%

施策3 広域行政の推進

◇施策のねらい（めざす姿）…自治体間の広域的な連携により、行政が効率化し、市民の利便性や福祉が向上しています。

施策の成果目標値

◆共同処理事務数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
4件	増加	増加

◆広域要望の実現度

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
—	増加	増加

◆公共施設の共同利用数

現状値 (平成20年度)	目標値 (平成27年度)	目標値 (平成32年度)
0件	増加	増加

～メ モ～ 「緑とふれあいのあるふるさと 鎌ヶ谷」の実現のため私ができる役割

A large empty rectangular box with a thin black border, intended for the user to write their response to the prompt above.

鎌ヶ谷市総合基本計画後期基本計画（概要版）

発行日：平成 22 年 3 月

発 行：鎌ヶ谷市

編 集：鎌ヶ谷市総務企画部企画財政課企画政策室

〒273-0195 鎌ヶ谷市新鎌ヶ谷 2-6-1

電話 047-445-1141

FAX 047-445-1400